

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		中学生社会体験チャレンジ事業		担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	72224	
総合計画	大項目	2 次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1 共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	文部科学省中学校学習指導要領					
	小項目	1 「生きる力」を育む学校教育の推進								
	主要プロジェクト									
事業概要		中学2年生を対象に3日間働く体験をすることにより、生徒が自らの将来の生き方を考え、望ましい勤労観や職業観を持つことにより自己の進路を設計し、適切な進路選択を行うことを期待する事業である。								
目的 ※何のために		中学生が望ましい勤労観や職業観を身に付けるため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内市立中学2年生								
手段 ※どのように		中学生が、事業所において3日間程度の職場体験学習を行う。								
成果 ※何を求めるか		生徒が望ましい勤労観や職業観を身に付けること。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学生社会体験チャレンジ事業[学校教育課]	168,191
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学生社会体験チャレンジ事業[深谷中学校]	0
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学生社会体験チャレンジ事業[南中学校]	65,554
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学生社会体験チャレンジ事業[藤沢中学校]	36,362
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学生社会体験チャレンジ事業[上栗中学校]	0
本事業の 主な業務		・ 体験希望生徒の募集							・	
		・ 職場体験の実施							・	
		・ 職場体験実施報告書の作成							・	
		・ 推進委員会の開催							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		職場体験の実施報告書の作成推進委員会の開催	職場体験の実施報告書の作成推進委員会の開催	職場体験の実施報告書の作成推進委員会の開催	職場体験の実施報告書の作成推進委員会の開催		
事業費	予算(現額)	494,000	810,000	829,000	755,000		
	決算額	0	513,824	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	513,824	829,000	755,000	
人件費	従事職員数(人)	0.13	0.13	0.18	0.18		
	人件費相当試算※	1,009,049	1,023,042	1,475,350	1,475,350		
総事業費試算		1,009,049	1,536,866	2,304,350	2,230,350		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	推進委員会開催回数		目標値	回	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績値		2.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			R 5 から年 2 回の開催を目標値とする / 開催実数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	協力事業所数		目標値	件						
			実績値		158.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標値は設定しない / 受入事業所数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	社会体験チャレンジ事業参加人数		目標値	人						
			実績値		573.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			生徒数は変動するため、目標値は設定しない。各校中学 2 年生を参加対象とする / 参加人数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	社会体験チャレンジ事業参加割合		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			参加率 1 0 0 % を目標値として設定する / 参加生徒数／対象生徒数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	夢や目標を持っていると答えた生徒の割合		目標値	%	83.00	83.00	83.00	83.00	83.00	83.00
			実績値		77.60					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			8 3 % を目標値として設定する / 全国学力学習状況調査						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえ A～C の三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A: 達成している B: おおむね達成している C: 達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	市内 10 校中 6 校、573 名の生徒が職場体験を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響か、年々夢や目標を持っている生徒の割合が減ってきていることが課題である。令和 4 年度は職場体験を実施できた学校もあるが、それ以外の学校はキャリア講演会を行うなど、市内 10 校で生徒の進路キャリア教育に取り組むことができた。
			評価者 課長補佐兼指導主事 高橋 真也

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A: 効率的である B: 高める余地あり C: 効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICT の活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	紙ベースでのやりとりだけでなく、必要に応じてオンラインでの対応をとっていく余地がある。 事業所とのやり取りをオンラインで行うなど、ICT を活用する余地がある。
			評価者 課長補佐兼指導主事 高橋 真也

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	


6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中学生社会体験チャレンジ事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	72224
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業を実施することができなかった学校もあったが、感染症の状況を注視しながら適切な対策を講じて実施をした学校もあった。 実施できなかった学校は、様々な職種から講師を招き、キャリア講演会を行うなど、進路キャリア教育を進めた。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長 兵頭 一樹				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 2	指標名	協力事業所数
			
区分	成果指標 2	指標名	夢や目標を持っていると答えた生徒の割合
